

# SYLLABUS(前期)

授業科目	ビジネスマナーⅡ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	仕事に対する姿勢やビジネス文書の基本事項、統計・データの読み方まとめ方等を学び、社会人として必要な知識を身に付ける。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	仕事に対する基本姿勢①		顧客意識・品質意識・納期意識・協調意識					
2	仕事に対する基本姿勢②		目標意識・改善意識・コスト意識・時間意識 合理的な仕事の進め方					
3	仕事への取り組み①		正確かつ計画的に 1日の計画表の立て方					
4	仕事への取り組み②		仕事のマニュアル化とマニュアル化の意味 スケジュール管理に不可欠なツール					
5	仕事への取り組み③		仕事は効率を考慮して処理する 仕事の能率を上げるための身辺整理					
6	社会のルールと勤務条件①		就業規則と職場のルール 勤務条件と労働法とのかかわり					
7	社会のルールと勤務条件②		給与の支払い形態と差引支給額					
8	仕事とIT		パソコンは日常生活に不可欠なツール ネットワークと電子メールの活用、パソコン使用上のルール					
9	ビジネス文書の基本		ビジネス活動に欠かすことのできないビジネス文書 ビジネス文書を作成する際のポイント					
10	社内文書の種類と役割①		社内文書の特徴と役割 日常勤務に関する届けや身上の届は書式に従う					
11	社内文書の種類と役割②		伝達文書は社内文書の中でも重要な役割 職種や状況に応じて各種の報告書を作成					
12	社外文書の種類と役割①		会社を代表して書いているという自覚 社外文書として社交・儀礼の文書がある					
13	社外文書の種類と役割②		社外文書の形式					
14	社外文書の種類と役割③		頭語と結語は対応する 時候のあいさつで季節感を添える					
15	社外文書の種類と役割④		前文・末文のあいさつことば 封筒・便箋の書き方・使い方と郵便以外の発送・通信サービス					
1回配当時間		2時間	1コマ					
使用教科書								

# SYLLABUS(前期)

授業科目	疑似言語		年次	2年	前後期	前期	単位	2
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	システムエンジニア、プログラマーとしての実務経験を有す。							
教育目標	基本情報技術者の午後問題に出てくる疑似言語、およびアルゴリズム問題を解くための手順、考え方を学ぶ							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	アルゴリズムの作成復習		アルゴリズムと流れ図 変数 疑似言語とは					
2	疑似言語とは		繰返し構造					
3	疑似言語とは		関数とは 定義済みより記号と関数の関係、関数を利用するメリット、引数の種類と関数の戻り値					
4	疑似言語とは		関数とは 疑似言語の構造、変数のスコープ、局所変数、関数の実引数と仮引数の変数名 大域変数、大域変数と局所変数の優先度					
5	基本データ処理		集計 加算項目が定数の場合、カウンタの利用、加算項目が不規則に変化する場合、 データ入力件数が不明な場合、減算項目の利用					
6	基本データ処理		二重ループ 二重ループとは、定義済み処理と関数、カウンタ変数の名前の付け方					
7	基本データ処理		二重ループ 二重ループで内側のループの処理回数を変化させる					
8	基本データ処理		複合条件 複合条件とは、判定条件に論理積、論理和、複合条件で解消できる入れ子構造					
9	基本データ処理		複合条件 複合条件の短絡評価、繰返し条件での複合条件、複数の複合条件					
10	配列		一次元配列とは 変数と配列の違い、配列番号、宣言、触知設定、値の代入、配列のコピー、集計処理					
11	配列		一次元配列とは 配列の最大値探索処理、配列の領域、関数の利用、値渡しと参照渡しの動作の違い					
12	配列		二次元配列とは 宣言、代入、集計処理、関数の利用					
13	探索処理		線形探索法 線形探索とは、番兵法					
14	探索処理		二分探索法 二分探索とは					
15	整列処理		基本選択法 基本交換法					
1回配当時間	2時間		1コマ					
使用教科書	疑似言語で学ぶアルゴリズム							

# SYLLABUS(前期)

授業科目	システム管理		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	スマホアプリ開発やWebメディア企画開発、IoT開発業務を中心にデザインエンジニア/プログラマーとして会社を運営しており、情報処理全般の実務経験を有す。							
教育目標	PCネットワークの障害管理、性能管理、セキュリティ管理や情報システムの改善、新規システムの受入れ、利用者への技術支援に関する知識を学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	システム管理の実例紹介		2010年代のソーシャル・ゲームのシステム管理の実例を紹介する。					
2	システム管理の実例紹介		2020年代の不動産仲介WEBサイトのシステム管理の実例を紹介する。					
3	システム管理とは		システム管理を概説する。 運用を概説する。					
4	基盤運用のケーススタディ		バッチ運用					
5	基盤運用のケーススタディ		ジョブ/スクリプト運用					
6	基盤運用のケーススタディ		ジョブ/スクリプト運用 実習 cron					
7	基盤運用のケーススタディ		ジョブ/スクリプト運用 実習、サーバーサイドスクリプト					
8	基盤運用のケーススタディ		バックアップ/リストア運用					
9	基盤運用のケーススタディ		バックアップ/リストア運用 実習、ファイルバックアップ、DBバックアップ、バージョン管理					
10	基盤運用のケーススタディ		監視運用					
11	基盤運用のケーススタディ		監視運用 実習					
12	基盤運用のケーススタディ		ログ管理					
13	基盤運用のケーススタディ		ログ管理 実習、アクセスログ、エラーログ					
14	基盤運用のケーススタディ		運用アカウント管理					
15	基盤運用のケーススタディ		運用アカウント管理 実習、ユーザー追加、ユーザー削除、権限管理、パスワード変更					
1回配当時間	2時間		1コマ					
使用教科書	運用設計の教科書 現場で困らないITサービスマネージメントの実践ノウハウ							

# SYLLABUS(前期)

授業科目	検定対策講座		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	システムエンジニア、プログラマーとしての実務経験を有す。							
教育目標	基本情報技術者試験の内容変更に伴い疑似言語の過去問題を中心に復習する。また、J検情報活用1級・2級をも視野に入れ過去問題にて復習する。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	アルゴリズムとプログラミング		プログラムの基本要素 問題1, 2, 3, 4, 5					
2	アルゴリズムとプログラミング		プログラムの基本要素 問題6, 7, 8, 9, 10					
3	アルゴリズムとプログラミング		プログラムの基本要素 問題11, 12, 13, 14, 15					
4	アルゴリズムとプログラミング		プログラムの基本要素 問題16, 17, 18, 19, 20					
5	J検情報活用		情報表現の過去問題より復習する					
6	J検情報活用		経営戦略とシステム戦略（企業活動・企業法務）の過去問題より復習する					
7	J検情報活用		プロジェクトマネジメント （システム開発マネジメント・プロジェクトマネジメント）の過去問題より復習する					
8	J検情報活用		プロジェクトマネジメント（サービスマネジメント）の過去問題より復習する					
9	J検情報活用		情報と情報の利用 （情報表現とデータ構造・問題解決処理手順・情報と情報の利用）の過去問題より復習する					
10	J検情報活用		パソコンを利用したシステム（コンピュータの種類、および動作原理・オペレーティングシステム・パソコン関連機器とインタフェース）の過去問題より復習する					
11	J検情報活用		ネットワークの利用（インターネットの基礎・ネットワークの利用）の過去問題より復習する					
12	J検情報活用		アプリケーションソフトの利用と活用（アプリケーションソフトの基礎知識・表計算ソフト・表計算を利用した問題解決）の過去問題より復習する					
13	J検情報活用		情報ネットワーク社会への対応 （社会におけるコンピュータの利用・情報社会の問題点）の過去問題より復習する					
14	J検情報活用		情報モラル、情報セキュリティ（情報モラルとネットワークセキュリティ・コンピュータセキュリティ）の過去問題より復習する					
15	J検情報活用		総復習					
1回配当時間		2時間	1コマ					
使用教科書		基本情報技術者 科目B問題集、よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト						

# SYLLABUS(前期)

授業科目	IoT組込み系プログラミング		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	IoTで必要不可欠な知識として洗濯機、エアコン等の家電製品をはじめコンピュータを内蔵し特定の機能をはたす産業機器のプログラミングを学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	IoTとはなにか？		IoTとはなにか、どんなことができるのかを学ぶ					
2	IoTとマイコン		IoTを実現するためのマイコンの利用と開発環境 M5Stackの利用 開発環境Arduino IDEの利用法					
3	IoTプログラミングの基礎1		IoTをプログラムする概要とプログラム演習を行う。主にサンプルプログラムの解説を通じて学ぶ					
4	IoTプログラミングの基礎2		プログラムの基礎 順次処理・条件分岐・繰り返し処理の確認 サンプルプログラムによる利用法の演習					
5	IoTプログラミングの基礎3		変数の宣言、関数、配列の利用 サンプルプログラムを活用した演習					
6	外部出力表示：結果表示1		マイコンのディスプレイに表示する方法 主に文字表示 サンプルプログラムを活用した演習					
7	外部出力表示：結果表示2		マイコンのディスプレイに表示する方法：主に図形 かつ文字と組み合わせ					
8	外部入力処理：ボタンの利用		押されたボタンを判定する条件分岐を活用したプログラミング。 サンプルプログラムによる利用法の演習					
9	外部出力：ポートからの出力		繰り返し処理、条件分岐処理を通じて、M5StackからLEDの点灯制御					
10	外部入力処理：表示変更		M5Stackのポートから外部のビット情報を取得し、応答（表示）処理					
11	外部入力応答：AD変換 1		AD変換の仕組みを学び、実際にM5Stackで処理プログラムを作成 数値表示					
12	外部入力応答：AD変換 2		外部からのアナログ値入力をAD変換し、値に応じて、出力状態の変更（応答操作に相当）					
13	外部入力応答：AD変換 3		11回、12回の内容を基に、光センサー入力を利用して、マイコンを制御するプログラム作成					
14	外部入力応答：AD変換 4		13回の内容を基に、センサー入力を利用して、マイコンからの出力制御するプログラム作成					
15	外部出力応答：DA変換		DA変換の仕組みを学び、実際にM5StackのDA変換を動作させるプログラム作成					
1回配当時間	4時間		2コマ					
使用教科書	みんなのM5Stack入門							

# SYLLABUS(前期)

授業科目	スマホアプリ開発Ⅱ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	スマホアプリ開発Ⅰで身につけたスマホアプリプログラミング技術の基礎をもとに、応用アプリプログラミングに取り組みスマホアプリ開発技術を学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	AndroidStudio		1. AndroidStudioの概要 2. アプリ開発の準備					
2	フラワーシミュレーター1		1. プロジェクトの準備 2. アプリの見た目					
3	フラワーシミュレーター2		1. 水をあげるボタン 2. 植物が育つ様子の再現					
4	フラワーシミュレーター3		1. ボタンの表示と非表示の切り替え 2. リセットボタン					
5	エモーショナル写真集1		1. プロジェクトの準備 2. アプリの見た目					
6	エモーショナル写真集2		1. スライダー機能 2. 画像のセピア加工					
7	早口言葉の達人1		1. プロジェクトの準備 2. アプリの見た目					
8	早口言葉の達人2		1. 音声再生機能 2. ボタンの表示と非表示の切り替え					
9	難読漢字1		1. プロジェクトの準備 2. アプリの見た目					
10	難読漢字2		1. クイズの出題 2. 問題のシャッフル					
11	難読漢字3		1. 正解不正解の判定 2. クイズの結果の表示					
12	マイ推し図鑑1		1. プロジェクトの準備 2. アプリの見た目					
13	マイ推し図鑑2		1. 推しリスト 2. 推しリストのカスタマイズ					
14	マイ推し図鑑3		1. 詳細画面 2. おすすめ機能					
15	期末テスト		AndroidStudio、フラワーシミュレーター、エモーショナル写真集、早口言葉の達人、難読漢字、マイ推し図鑑					
1回配当時間	4時間		2コマ					
使用教科書	いきなりプログラミングAndroidアプリ開発 アプリ完成まで最短の入門書！							

# SYLLABUS(前期)

授業科目	データベースプログラミング	年次	2年	前後期	前期	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	システムエンジニア、プログラマー、ネットワークエンジニアとしての実務経験を有す。						
教育目標	Accessによるリレーショナルデータベースの操作とデータベース設計の方法について学ぶ						
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。						
回数	題 目	授 業 内 容					
1	オリエンテーション SQL学習環境の設定	SQL実行ツールの使い方 SQL実行ツールのインストール					
2	SELECT命令	SELECT命令を構成する要素を把握する					
3	WHERE句を使ったデータ抽出	データを絞り込み					
4	条件式の組み合わせ	いろいろな条件での検索					
5	並べ替え	データの並べ替え					
6	ORDERBY句での計算	データの演算					
7	関数を使う	関数を使ったデータ加工					
8	追加・削除・更新	データの追加・削除・更新					
9	集約関数・グループ化	データの集計					
10	テーブルの作成・削除	テーブルの作成・削除					
11	テーブルの結合	複数のテーブル					
12	トランザクションを使う	トランザクションを使う					
13	情報処理試験対策1	ITパスポートの過去問題の解き方を解説する					
14	情報処理試験対策2	ITパスポートの過去問題の解き方を解説する					
15	まとめ	ネットワークや情報セキュリティーをまとめる					
1回配当時間	4時間	2コマ					
使用教科書	イラストで理解SQLはじめて入門 CD-ROM付き						

# SYLLABUS(前期)

授業科目	サーバ構築	年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	スマホアプリ開発やWebメディア企画開発、IoT開発業務を中心にデザインエンジニア/プログラマーとして会社を運営しており、情報処理全般の実務経験を有す。						
教育目標	インターネットを使ってHPを見たり、ネットゲームを行ったりする場合に必要なサーバを構築する技術を学びます。						
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。						
回数	題 目	授 業 内 容					
1	ネットワークの基礎知識	ネットワーク構築に必要なIP等の基礎知識について学ぶ					
2	ネットワークの基礎知識	ネットワーク構築に必要なIP等の基礎知識について学ぶ					
3	ネットワークの基礎知識	ネットワーク構築に必要なIP等の基礎知識について学ぶ					
4	Linuxの基礎知識	Linuxの基本的な知識を学ぶ					
5	Linuxのインストール	Linuxのインストール手順を学ぶ					
6	Linuxのインストール	Linuxのインストール手順を学ぶ					
7	CUIの基礎知識	Linuxサーバーの管理に不可欠なコマンドラインを学ぶ					
8	CUIの基礎知識	Linuxサーバーの管理に不可欠なコマンドラインを学ぶ					
9	CUIの基礎知識	Linuxサーバーの管理に不可欠なコマンドラインを学ぶ					
10	Webサーバを構築する	LinuxサーバーにWEBサーバーをインストールする					
11	Webサーバを構築する	LinuxサーバーにWEBサーバーをインストールする					
12	Webサーバを構築する	LinuxサーバーにWEBサーバーをインストールする					
13	WEBサイトを試作する	WEBサーバー上にWEBサイトを試作する					
14	WEBサイトを試作する	WEBサーバー上にWEBサイトを試作する					
15	WEBサイトを試作する	WEBサーバー上にWEBサイトを試作する					
1回配当時間	4時間	2コマ					
使用教科書	はじめてのAlmaLinux9&RockyLinux9						

# SYLLABUS(前期)

授業科目	WebプログラミングⅡ		年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	Webプログラムにしかけを付け加えるプログラミング言語「JavaScript」「jQuery」を用いてメニューやナビゲーション、UIパーツなどに使えるプログラミング技術を学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	jQueryの基礎知識		1. jQueryの概要 2. jQueryの導入					
2	jQueryの文法		1. jQueryの文法 2. JavaScriptの基本					
3	jQueryの制作1		1. トグルメニュー 2. アラートボックス					
4	jQueryの制作2		1. ビューアー 2. タブ					
5	jQueryの制作3		1. ドロップダウンメニュー 2. フローティングメニュー					
6	jQueryの制作4		1. lightBox風モーダルウィンドウ 2. 画像のキャプション表示					
7	jQueryの制作5		1. ツールチップ 2. ボックスの高さを合わせる					
8	jQueryの制作6		1. 文字サイズの変更 2. パララックス効果					
9	jQueryの制作7		1. フィルタリング 2. テーブルセルのハイライト					
10	jQueryの制作8		1. アコーディオンパネル 2. スムーススクロール					
11	jQueryの制作9		1. バナーのランダム表示 2. フォームのバリデーション					
12	jQueryの制作10		1. スライドメニュー 2. スクロールによるヘッダーのリサイズ					
13	jQueryの制作11		1. ブラウザ上部に固定されるヘッダー 2. メニューのハイライト					
14	jQueryの制作12		1. スライドショー 横スクロール 2. スライドショー フェードイン/アウト					
15	期末テスト		jQueryの基礎知識、jQueryの文法、jQueryの制作					
1回配当時間	2時間		1コマ					
使用教科書	jQuery標準デザイン講座							

# SYLLABUS(前期)

授業科目	オブジェクト指向プログラミングⅡ	年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容							
教育目標	同じものの仲間を1つのグループとしてとらえ、そのグループごとでプログラムを組むことで効率的に作業ができる技術を学びます。						
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。						
回数	題 目	授 業 内 容					
1	クラスの基本	1. クラスの宣言 2. クラスの仕組み					
2	オブジェクトの作成	1. オブジェクト方法 2. メンバへのアクセス					
3	クラスの利用	1. クラス 2. クラスを利用する手順					
4	メソッドの基本	1. メソッドの定義 2. メソッドへのアクセス					
5	メソッドの引数	1. 引数 2. メソッドの定義					
6	メソッドの戻り値	1. 戻り値 2. 戻り値のないメソッド					
7	クラスの機能	1. メンバへのアクセス制限 2. カプセル化					
8	メソッドのオーバーロード	1. オーバーロードの仕組み 2. コンストラクタの基本					
9	コンストラクタ	1. コンストラクタの仕組み 2. コンストラクタの役割					
10	コンストラクタのオーバーロード	1. オーバーロード 2. コンストラクタと修飾子					
11	クラス変数	1. クラス変数 2. クラスメソッド					
12	クラスの利用	1. クラスライブラリ 2. 文字列を扱うクラス					
13	そのほかのクラス	1. Integerクラス 2. Mathクラス					
14	クラス型の変数	1. クラス型の変数 2. メソッドの引数					
15	期末テスト	クラスの基本、オブジェクトの作成、クラスの利用、メソッドの基本、メソッドの引数、メソッドの戻り値、クラスの機能、メソッドのオーバーロード、コンストラクタ、コンストラクタのオーバーロード、クラス変数、クラスの利用、そのほかのクラス、クラス型の変数					
1回配当時間	2時間	1コマ					
使用教科書	やさしいJava						

# SYLLABUS(前期)

授業科目	オフィスアプリケーション実習Ⅱ	年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	システムエンジニア、プログラマーとしての実務経験を有す。						
教育目標	Word・Excelによる各検定2～1級の合格に必要な文書作成技術及び情報処理技術及びプレゼンテーション技術について学びます。						
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。						
回数	題 目	授 業 内 容					
1	Excel	タイピング練習 フィルターの利用方法					
2	Excel	タイピング練習 フィルターの利用方法 ピボットテーブルの利用方法					
3	Excel	タイピング練習 ピボットテーブルの利用方法					
4	Excel	タイピング練習 データベース関数					
5	Excel	タイピング練習 効率を考えた表作成					
6	WordとExcel	タイピング練習 Excelで作成したものをWordで利用する方法					
7	WordとExcel	タイピング練習 実践問題					
8	検定対策	検定対策を兼ね復習（問題集利用）					
9	検定対策	検定対策を兼ね復習（問題集利用）					
10	検定対策	検定対策を兼ね復習（問題集利用）					
11	検定対策	検定対策を兼ね復習（問題集利用）					
12	検定対策	検定対策を兼ね復習（問題集利用）					
13	PowerPoint	タイピング練習 Powerpointの基本操作方法					
14	PowerPoint	タイピング練習 プレゼンテーションの概念とプレゼンテーション資料の作成ポイント					
15	PowerPoint	タイピング練習 簡単なプレゼン資料の作成					
1回配当時間	2時間	1コマ					
使用教科書	高校生のためのマクロ言語入門、実践ドリルで学ぶoffice活用術 演習問題 全173題 日本語ワープロ検定 模擬試験問題集、情報処理技能検定（表計算） 模擬試験問題集						

# SYLLABUS(前期)

授業科目	卒業制作		年次	2年	前後期	通年	単位	7
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	スマホアプリ開発やWebメディア企画開発、IoT開発業務を中心にデザインエンジニア/プログラマーとして会社を運営しており、情報処理全般の実務経験を有す。							
教育目標	本コースで学んだすべての知識や技術を用いて、社会的な課題や個人のニーズを満たすソフトウェアやウェブサービス、プロダクトなどを制作できるようこと							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	イントロダクション		卒業制作の進め方や、評価の方法などを概観する。また学生自身の進路希望など踏まえて、相応しいテーマ設定などを相談する。					
2	グループワーク手法、アイデア開発手法の解説		社会的な課題や個人のニーズを発見するために有用なアイデア開発の技法を紹介する。ブレインストーミングやスケッチの方法を学ぶ。					
3	手法を活用したアイデア開発作業		アイデア開発手法を活用して学生自身のアイデア開発を行う。					
4	手法を活用したアイデア開発作業		アイデア開発手法を活用して学生自身のアイデア開発を行う。					
5	システム設計手法の解説		UMLなどの設計技法を学ぶ。					
6	システム設計作業		定着したアイデアを、UMLなどの設計技法により、具体的なソフトウェアの設計書にまとめる。					
7	システム設計作業		定着したアイデアを、UMLなどの設計技法により、具体的なソフトウェアの設計書にまとめる。					
8	プロジェクト管理ソフトウェアの解説		プロジェクト管理ソフトウェアRedmineについて学ぶ。ツール上でのタスク管理やコミュニケーションの技法を実習する。					
9	プロジェクト管理ソフト上での個別制作作業と面談		設計書を用いて、具体的な制作を進める。個別にRedmine上での進捗管理を行い、必要に応じて面談する。					
10	プロジェクト管理ソフト上での個別制作作業と面談		設計書を用いて、具体的な制作を進める。個別にRedmine上での進捗管理を行い、必要に応じて面談する。					
11	プロジェクト管理ソフト上での個別制作作業と面談		設計書を用いて、具体的な制作を進める。個別にRedmine上での進捗管理を行い、必要に応じて面談する。					
12	プロジェクト管理ソフト上での個別制作作業と面談		設計書を用いて、具体的な制作を進める。個別にRedmine上での進捗管理を行い、必要に応じて面談する。					
13	プロジェクト管理ソフト上での個別制作作業と面談		設計書を用いて、具体的な制作を進める。個別にRedmine上での進捗管理を行い、必要に応じて面談する。					
14	プロジェクト管理ソフト上での個別制作作業と面談		設計書を用いて、具体的な制作を進める。個別にRedmine上での進捗管理を行い、必要に応じて面談する。					
15	前期の成果発表会		前期の成果として、アイデアのスケッチや設計書、試作などを発表する。					
1回配当時間		6時間	3コマ					
使用教科書	書籍はなし。オンラインにある実際の開発事例を紹介して進める。							